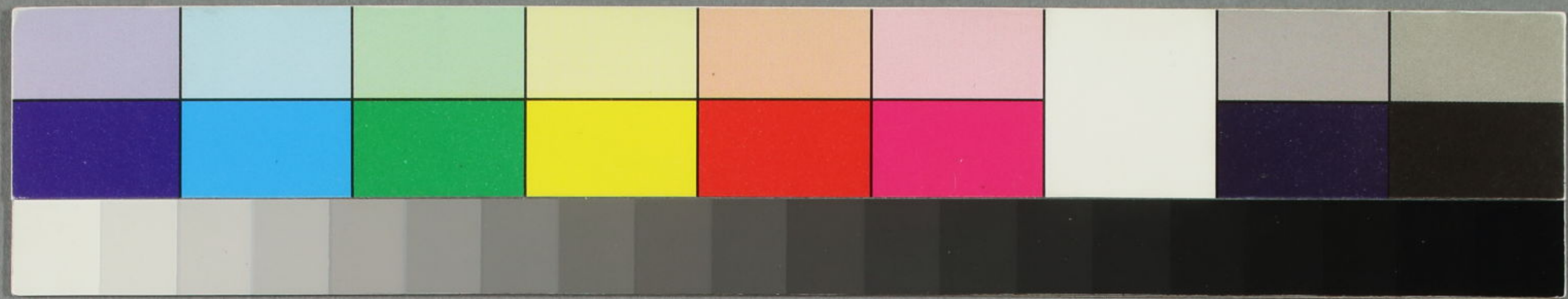


設考万身磨
坂大

特別
子 13
3849
40 (2)





13
3849
40-2

役者やくしやのせんねんご曆

藝品定



大坂乃先例おおさかのせんれいに



母はは倉くらハハ立た行ゆれれお生日うらなひ

系けいああと

役者やくしやのせんねんご金生水かねなみづ

ううららひひ

細こま活か通とももでで此こゝ
むむひひ



御ご小こ

そまく

らんのら乃ら
船ふね此こゝ

もあ松まつ子こ本もと

さいけう

さいせら

はあふじひひ歌うた役やく

チヤリいムい
やず

大坂乃坂二芝居越後者目録
名代大坂を在馬屋本小川右衛門
名代塩屋九郎重馬本幸市市助兼

▲立役之部

○凡そ五段の姓小書九のどき

真上吉 中山文 七 小川を

功上吉 中山新九市 旧を

上上吉 後川八 茂 市山を

上上吉 小川右衛門 金性

上上吉 中山素 助 小川を

上上吉 嵐 文又市 市山を

林間のほす小川右衛門の次性

上上吉 嵐 七三市 市山を

上上 市川音十市 日産 金性

上上 中村岩 苑 小川を

上上 市山助又市 産平 水性

上上吉 市野川又市 市山を

▲実恩之部

上上吉 中村秋又市 市山を

上上吉 坂东岩又市 日産

上上吉 深川けき市 小川を

上上吉 三株又市 日産

▲歌後之部

上上吉 山村克 秀 小川を

上上 中村新又市 市山を

上上 中村田又市 日産

上上 中村又市 小川を

上 坂川東九市 日産

上 中村友十市 市山を

上 芳沢十三市 上中川又市

上 中村吉次市 日産

上 中村徳又市 日産

上 岩権十市 上岩 喜又市

上 岩村宅八市 上中村勳又市

上 三株徳又市 上又市

▲觀仁方之部

上上 後川純古島 市山産

上上 後川十希島 小川産

▲并車形之部

上中 老松木之部 市山産

上 坂東久又部 小川産

▲美女形之部

上上吉 中村花代之部 市山産

上上吉 榎の本の熟入井筒の水姓

上上吉 端川大 右 小川産

上上吉 依野川花毒 市山産

上上吉 敵も歌もあやう肥土性

上上吉 尾上之部 助 小川産

上上吉 林山千 菊 市山産

上上吉 たいの足吉島とる部 土性

上上吉 花板豊之部 小川産

上上 九多六九うらる部の中此水姓

上上 姉川菊八 市山産

上上 薬とうりつる部の水姓

上上 中村玉 右 小川産

上中 野美小峰まき部の土性

上中 中山白之部 市山産

上市 柳山小くし部 水姓

上市 上市之部 市山産

▲小川産之部

生得金葉まの部 中村菊助部

老松木之部 小川長之助部

小川初花之部 中村編之部

相谷金葉まの部 小川青波部

山ノ下系波部 姉川新之助部

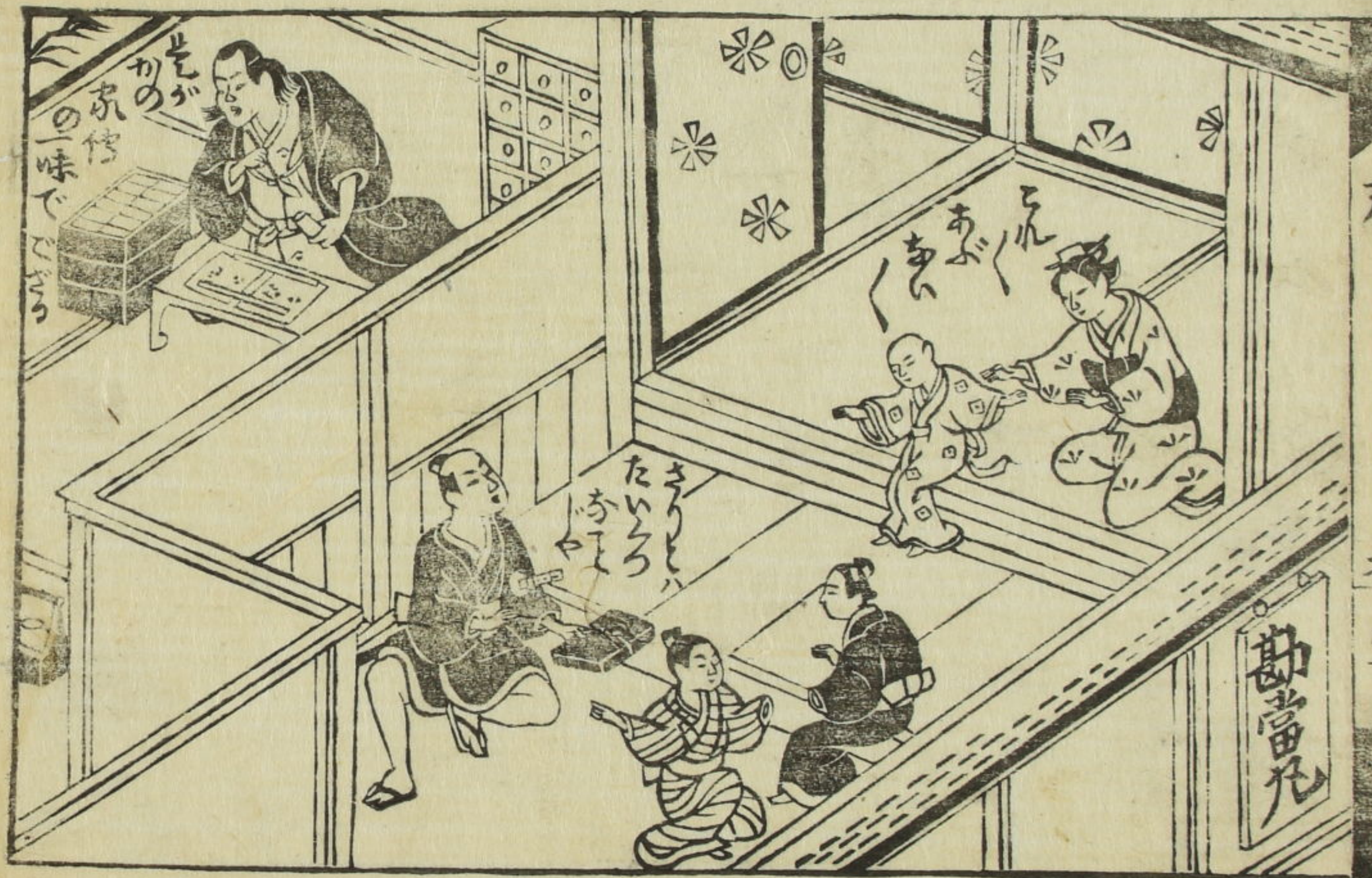
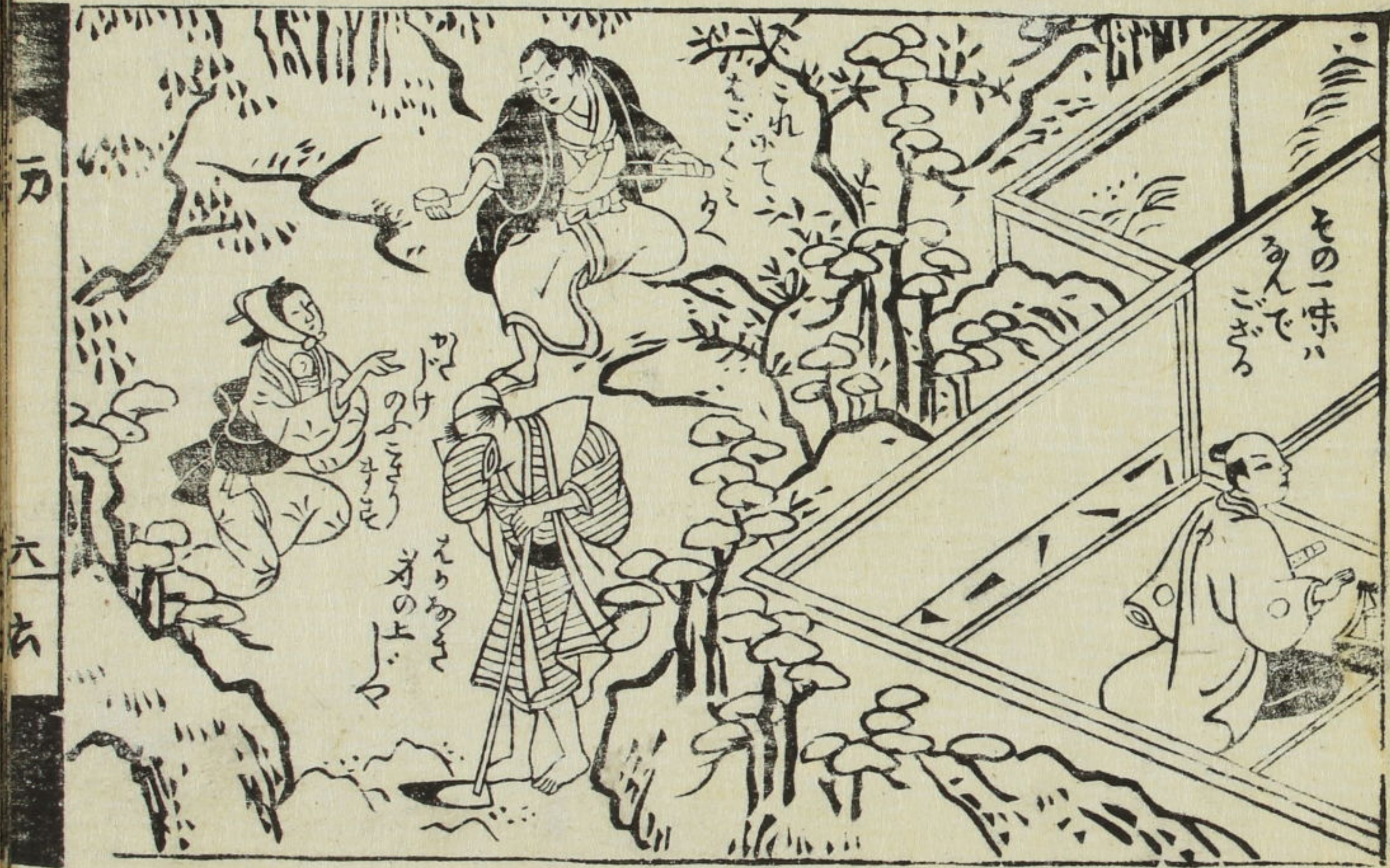
▲市山産之部

中村君助まの部 西川青波部

一嵐 徳茂まの部 一嵐 松次部

Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or a personal journal entry. The text is densely packed and covers most of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is densely packed and covers most of the page.

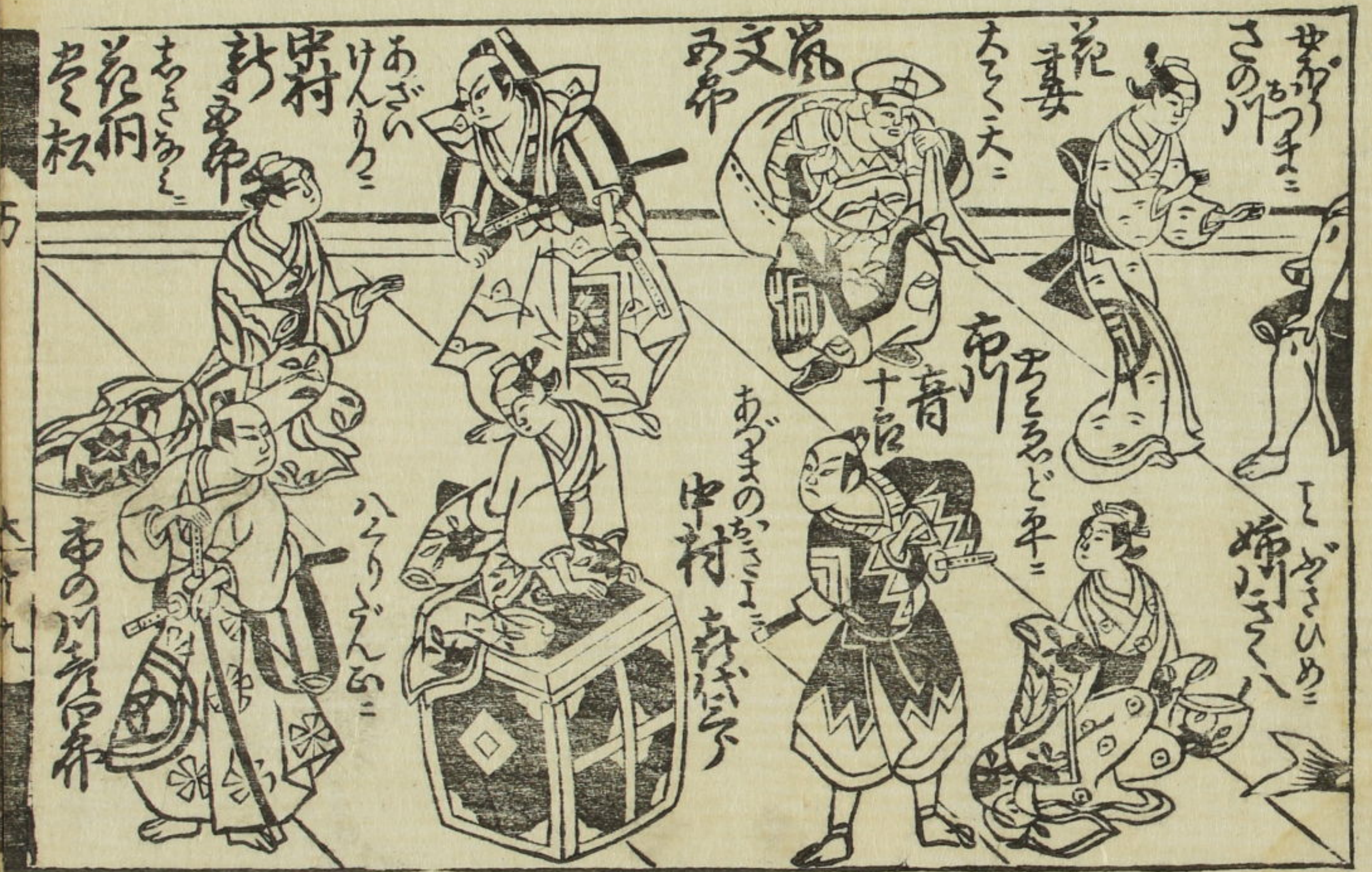



けき居のきき居も洞い人かたそりて
ておくさぶらうけぬまぬかきき居の
物居いしき居か小い居か小い居か
夫の人相まじき居の家おとあ居く
ゆきまきこの居の居か小い居か
先夜年れ居いとあかき居か小い居か
先年中男とあき居か小い居か
の居か小い居か小い居か小い居か
も新小建居か小い居か小い居か
この居か小い居か小い居か小い居か
とあ居くさ居か小い居か小い居か
お居か小い居か小い居か小い居か
の居か小い居か小い居か小い居か
お居か小い居か小い居か小い居か
この居か小い居か小い居か小い居か

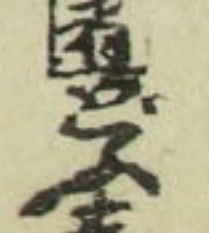

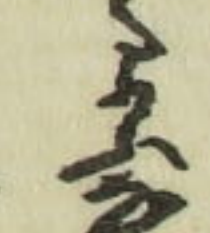

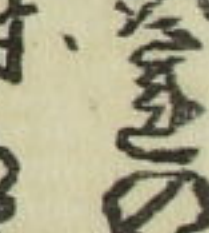

さき居か小い居か小い居か小い居か
この居か小い居か小い居か小い居か
お居か小い居か小い居か小い居か
の居か小い居か小い居か小い居か
お居か小い居か小い居か小い居か
この居か小い居か小い居か小い居か
とあ居くさ居か小い居か小い居か
お居か小い居か小い居か小い居か
の居か小い居か小い居か小い居か
お居か小い居か小い居か小い居か
この居か小い居か小い居か小い居か
とあ居くさ居か小い居か小い居か
お居か小い居か小い居か小い居か
の居か小い居か小い居か小い居か
お居か小い居か小い居か小い居か
この居か小い居か小い居か小い居か

強信判友喜房の報とすくそと忍とんを
つんそつろのとあふ一素の信後ふのま抱
と付そつんそ和時とそあはれを信後ふ
はあふの報後と高とそとあふまを洲
是うとあふのはらちとそこれれ報後信後を
あふのあつて又とあふのあつての信後信
はあふとそあつてあつてと信
はあふのはらちとそあふの信後信のあつて
あつてとあつてとあつてとあつてと
ここのあつてのあつてとあつてとあつてと
の信後信後が報後信後を信後信後
そとあつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと


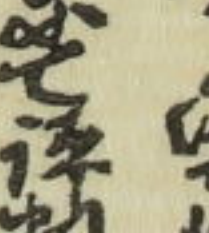
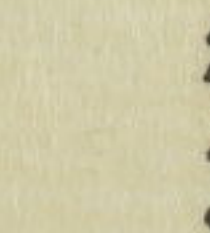
切ろ報後信後とあつてとあつてとあつてと
とあつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと
あつてとあつてとあつてとあつてと




上上  中村 忠 彦 小川


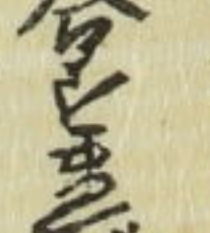

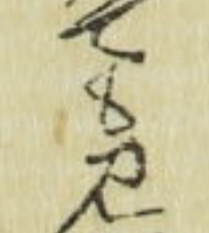
因縁に人々事年事安んずる名実を以て亦虎文
の勲を多ふもの始ての事なり  忠彦
此の信らぶるものなり  忠彦
又此の尤も  忠彦
中村の忠彦  忠彦
今も  忠彦
後  忠彦

上上 栄市 山形 又 希 希

因縁に  希
後の  希
希  希


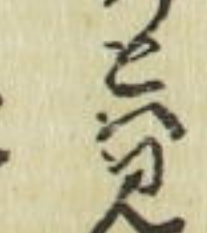
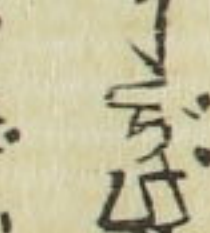
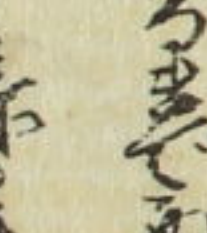



上上言  市野川 表 四 希 市山

 希

よが  希
希  希
希  希
希  希

▲ 実 忍 之 邪

上上吉  中村 秋 右 忠 市山

因縁に  秋
秋  秋
秋  秋
秋  秋
秋  秋
秋  秋
秋  秋

此の先にも交り合ふ事は有始のより後無
終の事なり今 吾れもさういふ事なすべし
物とて又ぬらふ事なすべし 止むことなき
まの事なり 目録の事なり

▲若女歌之部

上上吉 愈 中村云希 市山

此の先にも交り合ふ事は有始のより後無
終の事なり今 吾れもさういふ事なすべし
物とて又ぬらふ事なすべし 止むことなき
まの事なり 目録の事なり

さあわのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

まおまのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

まおまのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

まおまのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

まおまのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

まおまのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

まおまのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

まおまのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

まおまのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

まおまのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

まおまのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

まおまのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

まおまのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

まおまのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

まおまのふとてらひかその想ひが外を
かまきり

上上吉 師川丈吉 小川

上上 中村玉柏 小川友
上上 中村常三助 市山友
上上 中村常三助 市山友

上上 中村常三助 市山友

上上 中村常三助 市山友

上上 中村常三助 市山友

上上 中村常三助 市山友

上上 中村常三助 市山友

上上 中村常三助 市山友

Handwritten text in a cursive style, likely a list or record of names and titles.

子林万景系

明治九年辰五月書

八之宮屋公在馬板

